

Nara Women's University

Vol.039

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 奈良女子大学社会連携センター産学官連携推進部門 公開日: 2011-01-06 キーワード (Ja): イノベーションジャパン2009大学見本市, ナラノヤエザクラ, 各種公募情報, 今後の予定, 第7回研究フォーラムプログラム, 奈良の八重桜ブランド キーワード (En): 作成者: 社会連携センター メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10935/2571



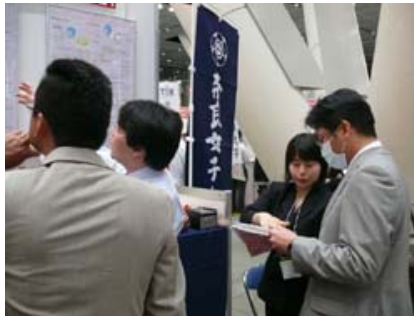
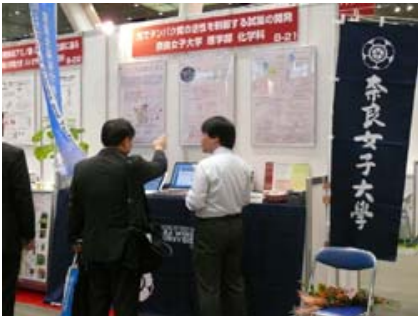
晩夏から初秋への奈良(奈良女子大学メールマガジンより抜粋)

科学研究費補助金申請の時期ですが、他助成公募についても数多く問合せがあります。研究協力課HPに随時掲載されていますが、紙面でも次ページ以降にご紹介いたします。

1. 「イノベーションジャパン2009 大学見本市」に参加しました。

東京・有楽町の東京国際フォーラムにて9月16日(水)～18日(金)の日程で日本最大規模の産学マッチングイベント「イノベーションジャパン2009-大学見本市-」が開催されました。本学は大学発の最先端技術シーズ紹介の「アグリ・バイオ」分野において理学部化学科 高島弘准教授より「**光でタンパク質の活性を制御する試薬の開発**」の研究成果を展示しました。

会期中(9月16日-18日の3日間)の本フォーラム来訪者は41,321人(主催者発表)ということで、ほとんどブース来訪者が途切れることがなかったようです。同じ展示規模のフォーラムは6月頃に京都宝ヶ池国際会議場で開催されていますが、やはり東京は圧倒的に来場者数が多く、大学の存在感をPRするために重要なフォーラムです。



【技術概要】生体内において薬剤が標的タンパク質の活性を抑える働きは、多くの場合タンパク質活性中心へ薬剤が強く結合することにより引き起こされる。本研究では、光増感作用を示す分子(金属錯体)を部分構造に持ち、タンパク質活性中心へ結合できる新たな試薬(薬剤)を開発した。標的タンパク質との結合および光反応を検討したところ、この試薬は従来型の結合機構のみによる場合と比較して、効果的な活性制御が可能であることを見出した。

今年は同時に「大学食の祭典」が併設され、社会連携センター 藤野特任准教授、理学部 鈴木孝仁教授、岩口伸一准教授より「ナラノヤエザクラからの有用野生酵母分離およびその利用」について、清酒『奈良の八重桜』に関するブースについても出展しています。こちらは会場内で各日1時間の試飲時間が設けられています。



大学発商品が多いなかで「大学として学術的側面では何をされたのですか?」といった質問も多く、学章に用いられている稀有な桜から酵母分離に成功したという説明に納得いただきました。佐久間副学長もかけつけていただき、成果PRといった観点から他大学についても視察されました。

2. 第7回研究フォーラムプログラムが決定しました。

2003年度より大学の教員の研究内容を学外の方にご紹介する機会として、年に1回開催してきました産学官連携推進部門主催の「研究フォーラム」です。7回目となります本年は、「ナラノヤエザクラ」という奈良県花にも指定されている桜品種から酵母を分離し商品化に結びつけようという産学官プロジェクト研究内容とその展開についてご紹介させていただきます。

奈良まほろば館の運営に携わっておられます別所氏より東京から見た奈良の魅力と商品価値についての講演や、本学監事の上野祐子先生のご専門でありますマーケティングという視点からこの「奈良の八重桜ブランド」についてお話をいただく予定としています。場所はコラボレーションセンター3階Z306教室。

プログラム

13:05-13:10

ご挨拶 奈良女子大学 佐久間春夫副学長

13:15-13:35

奈良八重桜PJの過去・未来

奈良女子大学 社会連携センター 藤野千代特任准教授

13:40-14:05

ナラノヤエザクラ花酵母の分離と発酵食品への応用

奈良女子大学 理学部 岩口伸一准教授

14:10-14:35

ナラノヤエザクラ酵母の分離及びそれを使った試験醸造について

奈良県工業技術センター 主任研究員 大橋正孝氏

14:40-14:55

COFFEE BREAK

発売後このフォーラムのためにプロジェクトメンバーが購入し冷蔵保存しておいた清酒「奈良の八重桜」の試飲をしていただけます(現在は完売していますが、12月中旬以降にまた市場に出る予定です。)

15:00-15:25

清酒「奈良八重桜」の市場評価と今年度醸造計画

株式会社今西清兵衛商店 櫻井大貴氏

15:30-16:05

奈良県外からみた奈良の魅力と市場の声

株式会社奈良の会 代表取締役 別所史氏

16:10-16:45

奈良の八重桜のブランド化への道

奈良女子大学 監事/株式会社マーケティングダイナミクス研究所 代表取締役 上野祐子氏

奈良女子大学
奈良女子大学第7回研究フォーラム
2009
11.2
Tue. 13:00-16:45
奈良女子大学
コラボレーションセンター3F
定員70名 参加無料
要申し込み
講演内容は変更あることがあります。

ご挨拶 奈良女子大学 副学長 佐久間春夫
奈良八重桜PJの過去・未来
奈良女子大学 社会連携センター 特任准教授 藤野千代
ナラノヤエザクラ花酵母の分離と発酵食品への応用
奈良女子大学 理学部 准教授 岩口伸一
ナラノヤエザクラ酵母の分離及びそれを使った試験醸造について
奈良県工業技術センター 主任研究員 大橋正孝氏
COFFEE BREAK
清酒「奈良八重桜」の市場評価と今年度醸造計画
株式会社今西清兵衛商店 櫻井大貴氏
奈良県外からみた奈良の魅力と市場の声
株式会社奈良の会 代表取締役 別所史氏
奈良の八重桜のブランド化への道
株式会社マーケティングダイナミクス研究所 代表取締役 上野祐子氏

3. 今後の予定

■ 『知財ビジネスマッチングフェア』に出展します。

- 出展ゾーン：特別企画展示コーナー
- 日時：10月21日・22日 10時~17時 (22日は16時)
- 会場：「インテックス大阪」3号館

■ 『アグリビジネス創出フェア』に出展します。

- 出展ゾーン：食品技術
- 日時：11月25日-27日 9時30分~16時30分
- 会場：幕張メッセ

■ 『南都銀行ビジネスフェア』に出展します。

- 出展ゾーン：食品技術
- 日時：12月8日 10時~17時
- 会場：マイドーム大阪

■ 研究紹介集2008-2009

研究紹介集のデータ更新の時期になりました。

研究活動をされている先生方に個別にデータ更新(新規作成)依頼を行いますので、ご協力よろしくお願ひします。なお、データは完全入稿形式でなく、データ素材のご提供をいただく形で結構です。



■ 会場：〒100-0001 10月21日(水)・10月22日(木)
10:00~17:00 両日とも10時~17時

■ 会場：〒100-0001 10月25日(土)・26日(日)・27日(月) 9時30分~16時30分

■ 会場：〒100-0001 12月8日(日) 10時~17時

4. 各種公募情報

ここでは研究助成公募を載せています。
各種表彰などについては下記URLをご参照ください。
<http://koto3.nara-wu.ac.jp/kenkyu/josei/koubo.html>
また本学に募集のあった共同研究の公募については
<http://koto3.nara-wu.ac.jp/kenkyu/josei/kyoudou.html>
をご参照ください。

公募情報についてはリアルタイムに
下記WEBにて随時公開中です。
<http://koto3.nara-wu.ac.jp/kenkyu/kakenjosei.html>

(財) 明治安田厚生事業団 第26回(平成21年度)健康医科学研究助成

【学内締切】平成21年10月14日

【助成対象】積極的な健康の維持増進に活用できる研究課題

【助成金額】総額1,500万円 100万円程度/件

【応募対象】所属長あるいは指導教官等の推薦要

40歳未満(申請時)の研究者

修士課程以下の学生、本研究助成の第25回(前年度)の対象者は申請不可

【問い合わせ】<http://www.tai-ken.jp/>

三井物産(株) 三井物産環境基金 2009年度 研究助成

【学内締切】平成21年10月14日

【助成対象】地球環境問題の解決に関わる「国際共同研究」、「学際・総合/政策研究」、「未来志向研究」のいずれか、あるいは複数に合致する研究

(1)一般研究

(2)萌芽研究

研究課題：①地球気候変動問

②水産資源の保護・食料確保

③表土の保全・森林の保護

④エネルギー問題

⑤水資源の保全

⑥生物多様性および生態系の保全

⑦持続可能な社会構築のための調査とネットワーキング(さまざまな主体との協

【助成金額】総額3億円

(1)A.5千万円以上

B.2千万円以上5千万円未満

C.2千万円未満

(2)5千万円以下

【応募対象】学長、学部長の承認要。

一般研究と萌芽研究の両方申請不可。申請書とCD-R等電子記録媒体を郵送または宅配便。

電子メール、持参での提出は不可。

【問い合わせ】<http://www.mitsui.co.jp/>

(財) 科学技術融合振興財団 平成21年度 助成金・補助金応募

【公募時期】平成21年10月15日(消印有効)

【助成対象】1. 研究助成

A. シミュレーション&ゲーミングに関する調査研究

B. (1) 情報技術、ネットワーク技術を応用したシミュレーション&ゲーミングによる学習用ソフトウェアの試作(学習用ソフトウェアを通じて行う青少年科学技術啓発活動)

(2) 社会に役立つシリアスゲームの調査研究

2. 補助金

C. シミュレーション&ゲーミングの先進的独創的な手法の研究

【助成金額】A,B:10~15件 総額1200万円 50~150万円程度/件

C:6~10件 総額300万円 20~50万円/件

【応募対象】2-C.若手研究者(大学院生・助手等)

2-C、AまたはBとの併願は不可

【問い合わせ】<http://www.fost.or.jp/>

(公) 福原記念英米文学研究助成基金 研究助成基金

【公募時期】平成21年10月31日(着)

【助成対象】英米文学研究 ①研究助成 ②出版助成

【助成金額】①総額120万円 40万円/人

②総額100万円 100万円/人

【応募対象】英米文学の研究に従事している者

【問い合わせ】<http://joseinews.jim.nanzan-u.ac.jp/pdf/O8-027.pdf>

(財)日本科学協会 平成22年度笹川科学研究助成

【公募時期】平成21年10月16日(着)

【助成対象】1.学術研究部門

A.一般科学研究

人文・社会科学および自然科学(医学を除く)に関する研究

B.海洋・船舶科学研究

「海洋学および海洋関連科学」ならびに「船舶および船舶関連科学」の研究を特別に奨励するもので、その成果が海洋・船舶関係に直結する研究(人文・社会科学を含む)

2.実践研究部門

C.実践研究

現場の第一線で活躍する専門的立場にある者にとって、なくてはならない不可欠な研究

【助成金額】1. 上限100万円/研究計画 2. 単年度上限50万円/研究計画

【応募対象】1個人1研究計画に限る

平成22年度の日本学術振興会特別研究員に採用される者は申請不可

1. 実質的指導者となる者の推薦書要

募集対象者

1-A.H22.4.1現在、35歳以下の大学院生または非常勤、任期付き雇用研究者

1-B.H22.4.1現在、35歳以下の大学院生または常勤・非常勤は問わない研究者

2. 現場の代表者、組織・団体の代表者の推薦書要

教員、学芸員、図書館司書、スクールカウンセラー、指導員等の専門的立場にある者、あるいは問題解決に取り組んでいる当事者などで、特に常勤・非常勤は問わない

【問い合わせ】<http://www.jss.or.jp/>

(財)飯島記念食品科学振興財団 H21年度 学術研究助成

【学内締切】平成21年10月16日

【助成対象】米麦その他主要食糧等を原料とする食品の流通、加工並びに食品科学に関する研究

(A)個人研究助成

(B)共同研究助成

研究分野:

① 米麦その他の主要食糧の生産、処理、加工に関する基礎的研究但し、育種、栽培等の基礎的研究は対象外とします

② 米麦その他の主要食糧等を原料とする食品加工技術の開発に関する研究

③ 米麦その他の主要食糧及び加工食品の品質保持並びに安全性に関する研究

④ 米麦その他の主要食糧等の流通並びに需給安定に関する研究

【助成金額】総額9千万円

(A)35件内外 100~200万円/件

(B)10件内外 200~500万円/件

【応募対象】(A)准教授、講師及び助教などの若手研究者の単独研究

(B)申請者(代表研究者)は教授級の研究者とし、申請者の外に分担経費が100万円を越える共同研究者(分担研究者)が少なくとも一人以上参画。申請研究課題に係る研究実績が1年以上。学長、学部長の推薦要。申請者が当財団の本助成を過去4回以上(共同研究助成の分担研究者を含む)受けていないこと。

【問い合わせ】<http://www.iijima-kinenzaidan.or.jp/>

(財)博報児童教育振興会 第5回児童教育実践についての研究助成事業(旧「ことばと教育 研究助成事業」)

【学内締切】平成21年10月20日

【助成対象】A:児童教育の基盤となることばの教育に関する研究の部

a.国語・日本語教育の諸分野における研究

b.あらゆる学びの場におけることば教育に関する研究

B:児童教育実践の質を向上させる研究の部

a.多様な場における教育実践の質を向上させる研究

【助成金額】上限300万円/件

【応募対象】所属長、指導教員の推薦要。応募資格:教員免許を持つ教員実践者。

修士以上の学位を保有する研究者。修士号未取得大学院生はグループ研究共同研究者として参加可。教授もしくはそれに相当する職は申請不可。応募される附属中等教育学校、小学校・幼稚園の教諭指導主事等は、附属中等教育学校係、小学校・幼稚園係へ連絡願います。

【問い合わせ】<http://www.hakuhodo.co.jp/foundation/>

(財)野口研究所 平成21年度 野口導研究助成金

【学内締切】平成21年10月21日

【助成対象】化学に関連する分野で、独創的かつ化学工業の振興に資するポテンシャルを持つ研究を行っている若手研究者

応募課題：①生物機能を活用した新規機能材料に関する研究

②バイオマス資源の活用に関する研究

③高効率反応触媒に関する研究

④自然エネルギーの有効利用に資する材料やデバイスに関する研究

⑤住環境の省エネルギーに関する研究

⑥高効率分離プロセスに関する研究

⑦革新素材開発に必要な解析・評価技術に関する研究

【助成金額】10～15件 原則200万円/件

【応募対象】39歳以下（S44.11.1以降に出生）の若手研究者。所属長の推薦要。

申請は、郵送とWEB入力必要

【問い合わせ】<http://www.noguchi.or.jp/>

(財)ヤマハ音楽振興会 2010年度ヤマハ音楽支援制度 A:音楽活動支援 B:研究活動支援

【公募時期】平成21年10月30日（着）

【助成対象】A:若手演奏家・作曲家自身が2010年4月～2011年3月の間に行う、良質な音楽による演奏活動や創作活動

B:2010年4月～2011年3月の間に行われる、音楽をテーマとした研究活動

【助成金額】3件程度の個人またはグループ 上限100万円/件

【応募対象】A:原則として30歳以下

【問い合わせ】<http://www.yamaha-mf.or.jp/>

近畿総合通信局 戦略的情報通信研究開発推進制度(SCOPE)及び地球温暖化対策ICTイノベーション推進事業(PREDICT)の平成22年度研究開発課題の公募

【公募時期】平成21年10月30日17時（着）

【助成対象】情報通信技術(ICT)イノベーション創出型研究開発

1.ICTイノベーション創出型研究開発

1-1.新世代ネットワーク技術

1-2.ICT安心・安全技術

1-3.ユニバーサル・コミュニケーション技術

2.若手ICT研究者育成型研究開発

3.地域ICT振興型研究開発

4.地球温暖化対策ICTイノベーション推進事業(PREDICT)

【助成金額】1.1課題当たり上限2千万円/年

2.(提案区分A)1課題当たり500万円～1000万円/年 (提案区分B)1課題当たり上限500万円

3.1課題当たり上限1千万円/年

4.1課題当たり3千万円～1億円/年

【応募対象】2.(ア)35歳以下の研究者

(イ)40歳以下の研究者であって、出産・育児・社会人経験等、研究に従事していない期間について研究提案書に記述し申請する場合

(ウ)40歳以下の研究者であって、博士号を取得してから5年以内の研究者申請書は電子メール、CDにて送付可。

※e-Radポータルサイト応募される方は事前に研究協力係まで連絡願います

【問い合わせ】<http://www.ktab.go.jp/>

旅の文化研究所 平成22年度(第17回)公募研究プロジェクト

【公募時期】平成21年10月31日（消印有効）

【助成対象】「移動・旅・観光に関連する諸問題」をテーマとした研究

【助成金額】上限60万円/件

【応募対象】大学院生、大学又は大学院に籍を置く研究生(留学生を含む)

個人研究に限る(海外調査も可)

研究指導者の推薦要

【問い合わせ】<http://www.tabinobunka.com/>

(財)日本ユニフォームセンター 平成21年度ユニフォーム基礎研究助成事業

【公募時期】平成21年10月31日(着)

【助成対象】①指定募集テーマ

ア、低炭素社会実現のため、CO2削減に効果のあるユニフォームの研究
イ、新しい産業分野においてユニフォームへ要求される特性についての研究
ウ、他国におけるユニフォーム導入に対する企業意識についての調査研究
エ、ユニフォームがもたらす各企業、団体などへの貢献度(収益性アップ、作業能率向上、イメージPRなど)についての調査研究

②自由選択募集テーマ

研究分野1 省エネ・リサイクルなど環境問題に関連するユニフォーム研究
研究分野2 個人情報・セキュリティに関連する研究
研究分野3 防災に関連するユニフォーム研究
研究分野4 ユニフォームの色彩、デザイン、素材に関する研究
研究分野5 人間工学アプローチからのユニフォーム研究

【助成金額】2~3件 1年間 30万円~50万円/件

【応募対象】学長承認が必要な場合は10/22までに研究協力係まで申請書を提出願います
ユニフォームに関する諸研究全般に取り組んでいる個人及びグループ(教職員・研究生及び一

【問い合わせ】<http://www.nuc.or.jp/>

(株)資生堂 第3回資生堂女性研究者サイエンスグラント

「資生堂について」(ウェブサイト上部バナー、左から4番目)⇒「医師・研究者のみなさまへ」

(ウェブサイト左中央部にバナーあり)⇒「リサーチグラント」をご参照下さい

【公募時期】平成21年11月2日(着)

【助成対象】自然科学分野

【助成金額】最大10件 100万円/件

【応募対象】自然科学分野の研究に従事できる女性研究者(年齢は問いません)
指導的役割を担われている者(教授・室長等)と受動的に研究されている者
(学生・大学院生等)は応募不可

【問い合わせ】<http://www.shiseido.co.jp/>

(財)内藤記念科学振興財団 2009年度内藤記念刊行助成金 ①学術図書 ②定期刊行物・英文学術雑誌

【学内締切】平成21年11月6日

【助成対象】人類の健康の増進に寄与し得る自然科学の基礎的研究に関する学術図書及び定期刊行物
(英文学術雑誌)の刊行を補助するもの

【助成金額】①50万円~100万円/件 ②100万円~300万円/件

【応募対象】学部長の推薦要(1推薦者1件)
申請は郵送と電子メール両方要

【問い合わせ】<http://www.naito-f.or.jp/>

(財)石本記念デサントスポーツ科学振興財団 第32回学術研究募集

【公募時期】平成21年11月10日(消印有効)

【助成対象】自由課題学術研究(健康の増進と体力の向上に関わる学術、およびその他のスポーツ振興に
関する学術研究)

【助成金額】最優秀入選100万円 優秀入選50万円(予定)

【応募対象】学長推薦が必要な場合は10/29までに研究協力係まで申請書を提出願います

応募資格:①体育学、健康科学、人間工学、被服科学、運動施設工学等健康の増進と体力の
向上に関わる学術、およびその他スポーツ振興に寄与する学術研究に所属する個人
またはグループ

②高校生から幼児までの教育機関に奉職しており、①に前述した分野で研究または
調査活動を行っている個人またはグループ。運動生理学的研究でなくとも、あくまで
教育現場に於ける身近なテーマで、すぐにも役立つ研究テーマ

応募される方は附属中等教育学校研究助成係、附属小学校・幼稚園研究助成係へ連絡願います

【問い合わせ】<http://www.descente.co.jp/ishimoto/>

(財) 達庵社 平成22年度(第15回)特別研究助成

【学内締切】平成21年11月11日

【助成対象】募集テーマ：病態解明に基づく新規治療標的の探索

【助成金額】総額500万円(H22年度250万円、H23年度250万円)

【応募対象】応募対象:45歳未満(S40.4.1以降生まれ) 学長、学部長、部長、教授等の推薦要

【問い合わせ】 <http://www.shionogi.co.jp/ho/>

(財) 第一住宅建設協会 平成21年度研究助成 ①一般研究 ②奨励研究

【公募時期】平成21年11月13日(着)

【助成対象】わが国の住宅、都市、土地に関し、経済、社会、法律、歴史、制度、計画およびこれらの複合的視点から、住生活の改善向上をはかるための研究

【助成金額】総額上限1,000万円 ①上限150万円/件 ②上限80万円/件

【応募対象】対象者：①専任または有期専任の身分で常勤にて在籍している研究者

②申請時に40歳未満の若手研究者

大学院生、専攻科生等申請不可

【問い合わせ】 <http://group.dai-ichi-life.co.jp/d-housing/>

(財) 長瀬科学技術振興財団 平成22年度研究助成

【学内締切】平成21年11月18日

【助成対象】生化学及び有機化学等の分野

【生化学】・微生物の基礎及び応用研究 酵素の基礎及び応用研究

細胞培養の基礎及び応用研究 内因性防御物質の基礎及び応用研究

【有機化学】有機機能材料の基礎及び応用研究 生体関連機能物質の基礎及び応用研究

不斉合成の基礎及び応用研究 有機エレクトロニクス材料の基礎及び応用研究

化学・有機化学両方にまたがる分野としてもご応募いただけます

【助成金額】10数件 250万円/件

【応募対象】学部長の承諾要 間接経費、一般管理費(オーバーヘッド)は、助成の対象外 申請は郵送とメールの両方必要

(財) 日本板硝子材料工学助成会 平成22年度(第32回)研究助成

【学内締切】平成21年11月18日

【助成対象】無機の固体材料並びに関連材料の科学と技術の研究

【助成金額】総額5,000万円程度 約40件程度 上限150万円/件

【応募対象】学長または学部長の推薦要 大学院生は応募不可 間接経費は対象外

助成件数のうち、独創性に富む萌芽的な研究は「継続助成」として選取することがあります。

継続研究(1~2件)に選ばれた場合、1年後評価の上、H23年度も助成金上限150万円/件

【問い合わせ】 <http://nsg-zaidan.or.jp/>

【問い合わせ】 <http://www.nagase-f.or.jp/>

(財) 家計経済研究所 2010年度研究振興助成事業

【公募時期】平成21年11月27日(着)

【助成対象】家計・家族・生活に関わる研究全般

【助成金額】上限100万円/件

【応募対象】応募対象:40歳未満の助教・助手または専任講師(准教授以上は除く)

45歳未満の非常勤講師または大学院生(大学院研究生を含む)

【問い合わせ】 <http://www.kakeiken.or.jp/>